

町民の消息

(8月26日～9月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

藤井京子	78歳	塩沢
馬場英幸	39歳	蒲生
堀金里江	97歳	福井
齋藤齊	96歳	亀岡
吉津憲二	86歳	長浜
菅家東	97歳	只見



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年9月1日現在

人	口	3,573 (-3)
男		1,771 (+4)
女		1,802 (-7)
世帯数		1,528 (-2)
高齢化率		48.9%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 10 転出 3 出生 0 死亡 10

▽9月はソフトボールや運動会、キッズスポーツ体験など、まさにスポーツの秋という行事が盛りだくさんでした。身体を動かすだけでなく、世代や集落、地域を越えて交流も深めることができたと思います。

▽朝晩はグッと冷えるようになりました。仕事前に朝の涼しい空気を吸い込むと、気持ちも体もシャキッとする気がします。

▽体調も崩しやすい時期ですので、皆様もお気を付けてください。

(小林)

あとがき

只見公民館 図書紹介

只見公民館図書室
☎82-2141

おすすめ新着図書

☆バリ山行



【著】松永K三蔵(講談社)

第171回芥川賞受賞作。古くなった建外装修繕を専門とする新田テック建装に、内装リフォーム会社から転職して2年。会社の付き合いを極力避けてきた波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加する。その後、社内登山グループは正式な登山部となり、波多も親睦を図る目的の気楽な活動をするようになっていたが、職人気質で職場で変人扱いされ孤立しているベテラン社員妻鹿があえて登山路を外れる難易度の高い登山「バリ山行」をしていることを知ると……。

会社も人生も山あり谷あり、バリの達人と危険な道行き。圧倒的生の実感を求め、山と人生を重ねて瞑走する純文山岳小説。

☆胎内記憶図鑑〈2〉宇宙編



【著】のぶみ(東京ニュース通信社)

『胎内記憶図鑑』から2年、待望の続編『胎内記憶図鑑2 宇宙編』が登場。

前回、6000人もの胎内記憶を持つ子どもたちへのインタビューから見えてきた未知なる胎内記憶の世界を鮮明に描き出し、大きな反響を呼んだ。

今回の続編は、絵本作家のぶみのSNSを通じて1日100通以上も寄せられる、胎内記憶を持つ子どもたちの証言から見えてきた変化と、産婦人科医・池川 明の最新研究による「進化した胎内記憶の世界」の最新情報から生まれた新たな謎をひも解いていく。子どもたちが予知する未来とは何か？

○只見公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

